AWS初心者向けチュートリアル:Amazon Translateと Pollyを使ってみよう

はじめに

対象読者

- Google Cloud Platform(GCP)の経験はあるが、AWSは初めての方
- Python歴3ヶ月程度の事務職の方
- 職業エンジニアではないが、API連携などの自動化に興味がある方

このチュートリアルで学べること

- AWSアカウントの作成から実際のサービス利用までの一連の流れ
- IAM(Identity and Access Management)の基本的な設定
- Amazon Translate(翻訳サービス)の使用方法
- Amazon Polly(音声合成サービス)の使用方法
- Python環境での認証設定とコード実行

必要なもの

- インターネット接続可能なPC
- Pythonがインストールされた環境
- クレジットカード (AWS無料利用枠内で使用予定ですが、アカウント作成時に必要)

1. AWSアカウントの作成

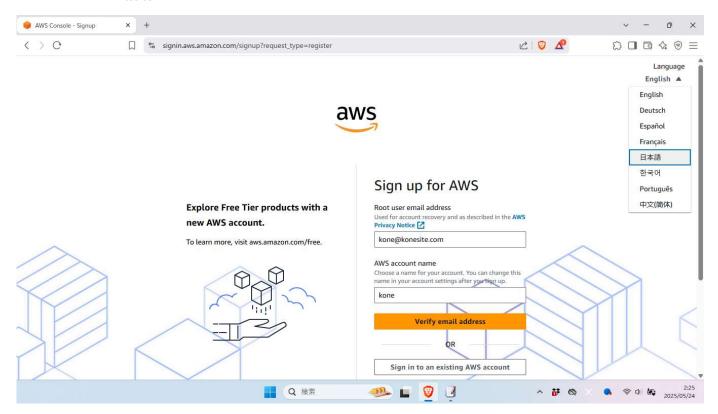
1.1 アカウント登録の開始

まず、AWSの公式サイト(https://aws.amazon.com/)にアクセスします。



上記の画面のように、「無料でアカウント作成」または「今すぐ無料アカウントを作成」ボタンが表示されています。このボタンをクリックしてアカウント作成を開始します。

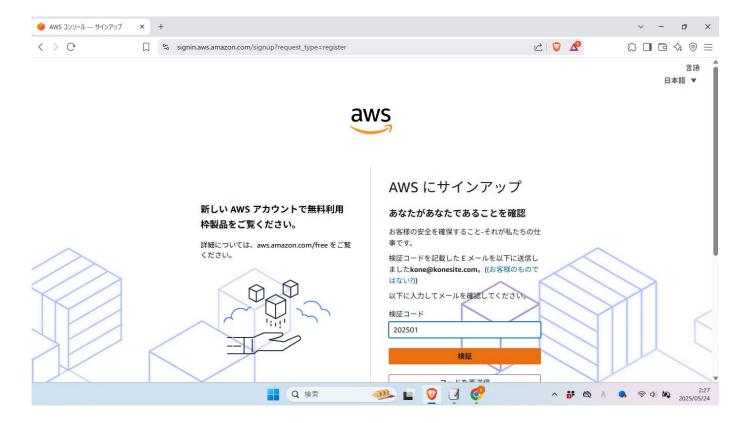
1.2 アカウント情報の入力



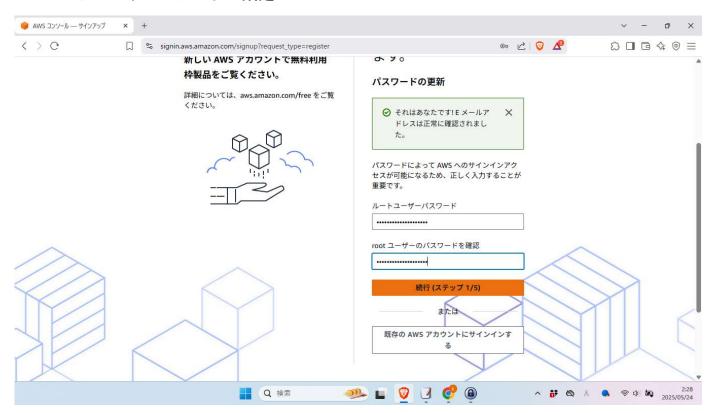
最初のアカウント作成画面では、以下の基本情報を入力します:

- **Eメールアドレス**: ログイン時に使用するメールアドレス
- AWSアカウント名: 管理しやすい任意の名前

「Eメールアドレスを確認」ボタンを押すと検証コードを含むメールが来ます。 その値を次の画面で記入してください。



1.3. ルートユーザパスワードの設定



ルートユーザパスワードを設定します。

1.4 連絡先情報の入力



続いて、連絡先情報を入力します:

- 連絡先の種類: 個人または法人を選択(今回は「個人」を選択)
- **氏名**: フルネームを入力
- 住所: 正確な住所を入力(郵便番号、都道府県、市区町村、番地)
- 電話番号: 本人確認で使用される番号

1.5 支払い情報の設定



入力する情報:

- **カード番号**: 16桁のクレジットカード番号
- **有効期限**: MM/YY形式
- **カード名義**: カードに記載されている名前
- 請求先住所: カード登録住所と同じ場合はチェックボックスを選択可能

注意: 今回のチュートリアルは無料利用枠内で実行できる内容ですが、アカウント作成には支払い方法の登録が必要です。

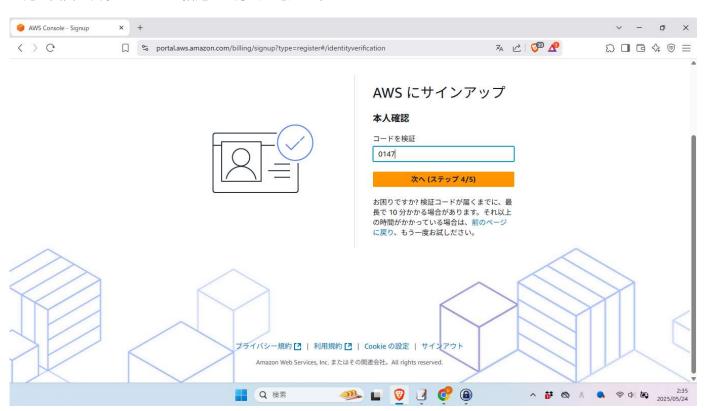
1.6 本人確認



電話番号による本人確認を行います。 SMSまたは本人へのコールで認証れれます。



上記の画面が表示されたら、指定した方法で通知が来ます。



1.7 サポートプランの選択

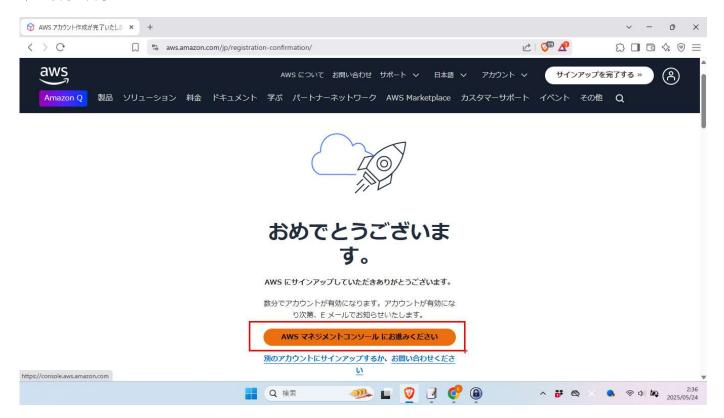


サポートプランは無料の「ベーシック」でかまいません。

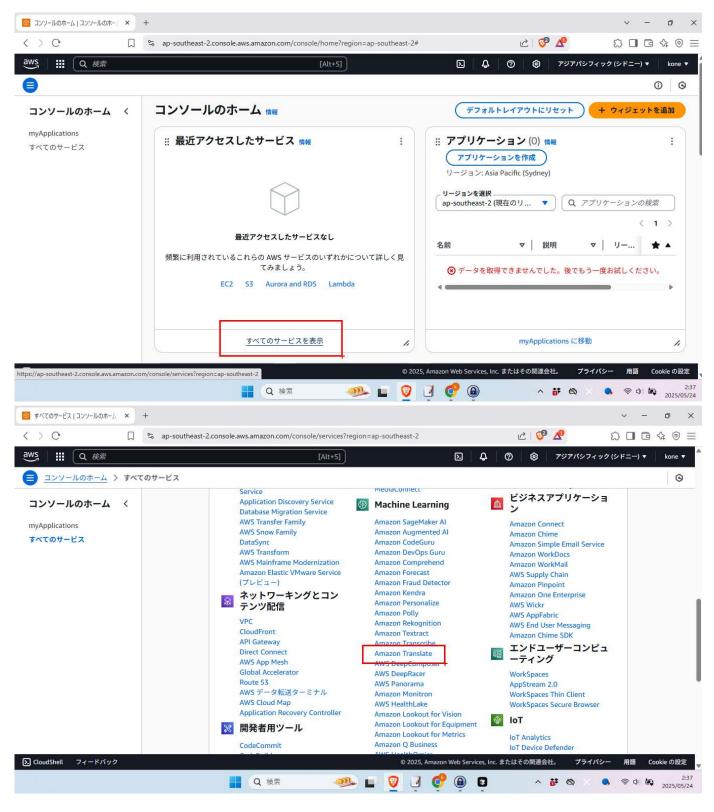
2. AWSコンソールへのログイン

2.1 初回ログイン

本人確認が完了すると、AWSマネジメントコンソールにアクセスできるようになります。

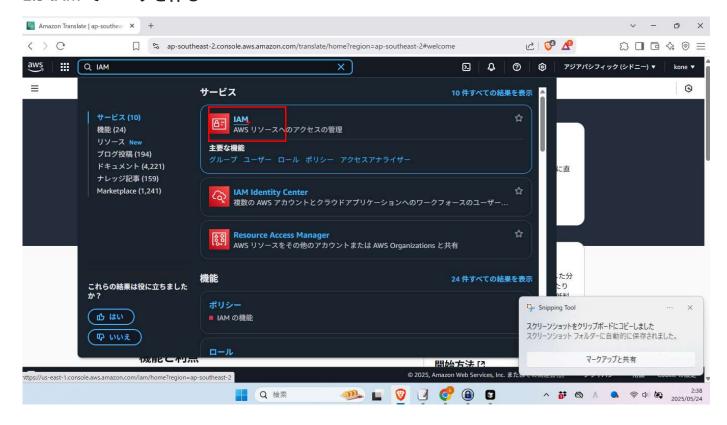


2.2 すべてのサービスを見てみる

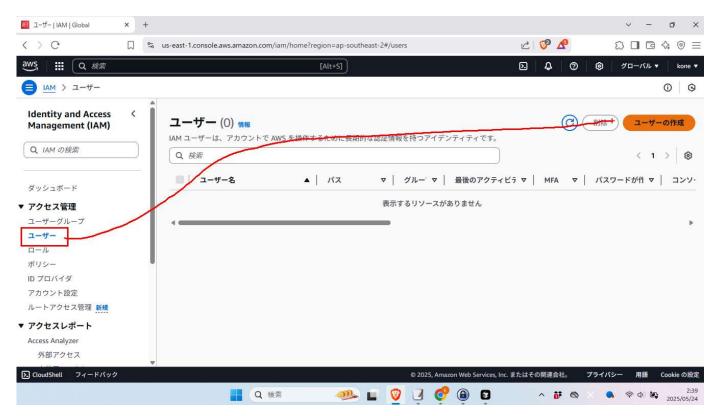


AWS には様々なサービスがあります。

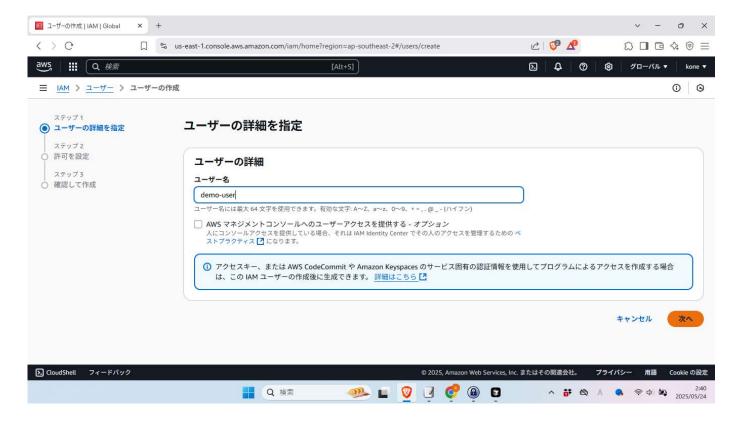
2.3 IAM でユーザを作る



左上の検索ダイアログに IAM と入力して IAM メニューを見つけます。



左メニューで「ユーザ」を見つけてクリック。 右の画面で「ユーザを作成」をクリック。



ユーザの詳細画面でユーザ名を設定しましょう。

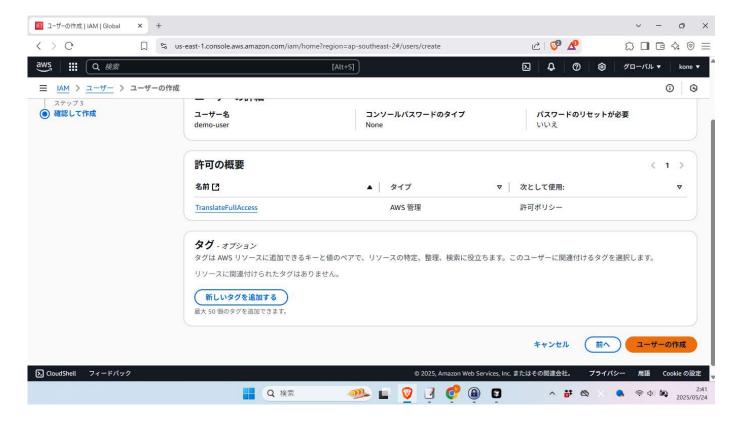
2.4 IAM で作ったユーザに permission を割り当てる

AWS Translation を使うために、今作った IAM ユーザに「TranslateFullAccess」の権限を割り当てます。

「グループに権限を割り当ててそのグループに参加させる」という方法もありますが、グループを作ってないので今回はユーザに直接権限を付与します。



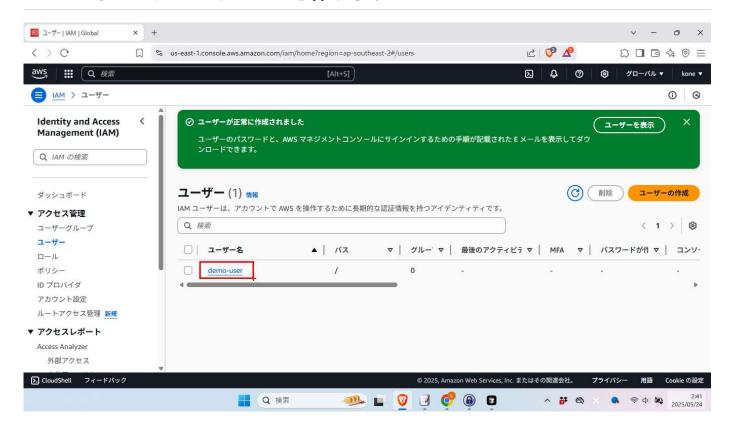
「許可ポリシー」の検索窓に TranslateFullAccess と入力します。 見つかった TranslateFullAccess を選択し、「次へ」ボタンを押します。



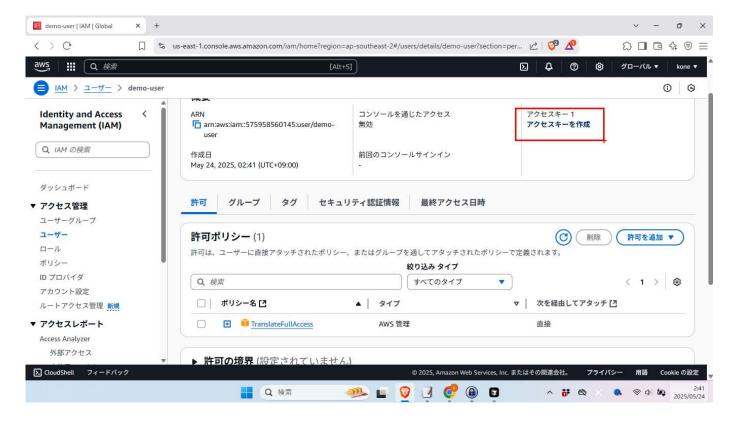
権限が付与されたことを確認します。

3. ユーザのアクセスキーペアを作る

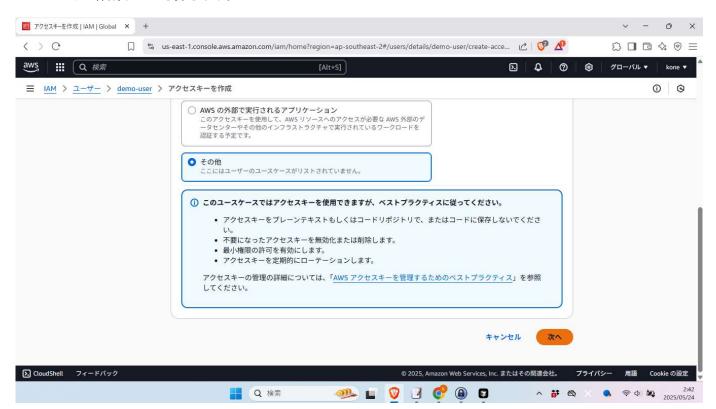
3.1 ユーザのアクセスキーペアを作ります



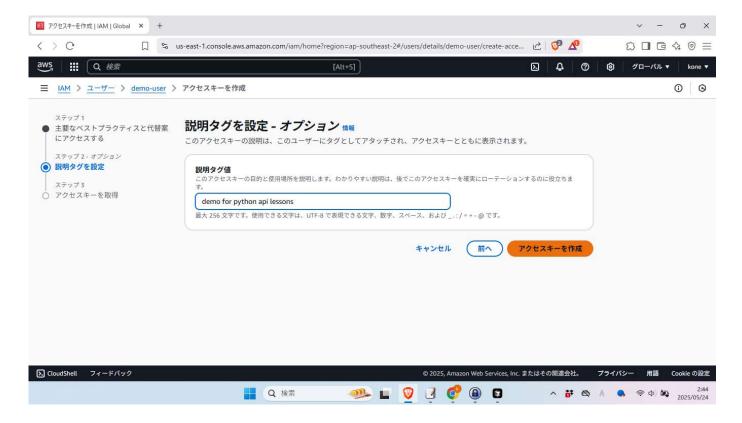
ユーザリストを表示し、さきほど作った demo-user を見つけてクリック。



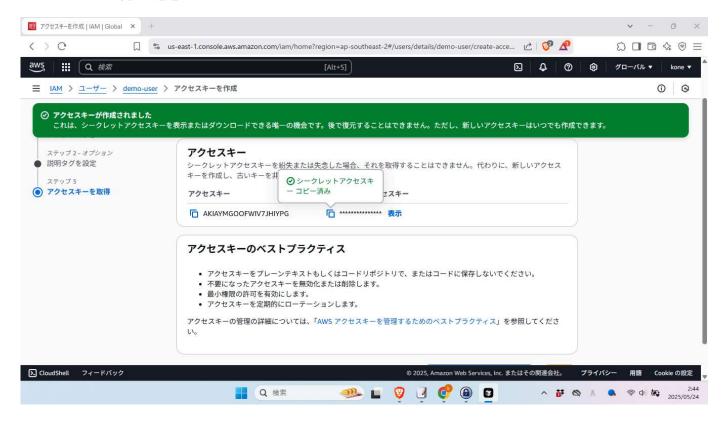
アクセスキー作成ボタンを押します。



最後の選択肢を選択します。



アクセスキーの詳細を記述します。

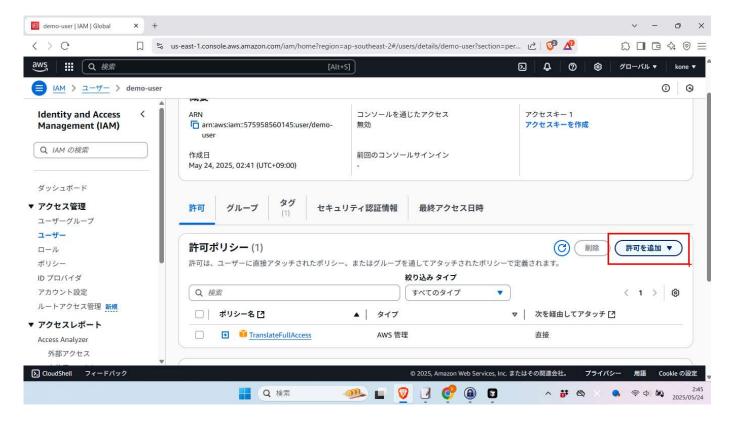


アクセスキーとシークレットアクセスキーのペアを取得できます。 .env ファイルにはこれら値を使用します。

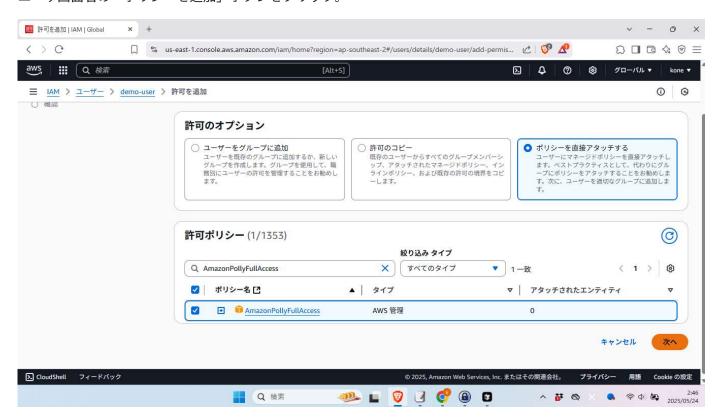
さっそく、 aws01_translate_text.py で動作確認をしてみてください。

4. IAMユーザの権限を追加する

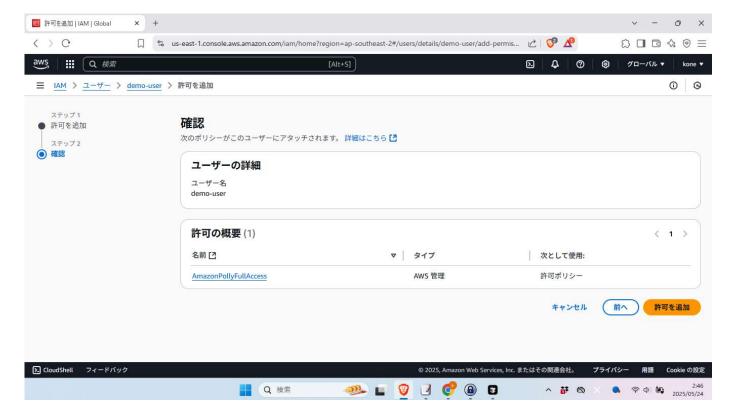
Polly を使うための権限をさらに追加してみよう。



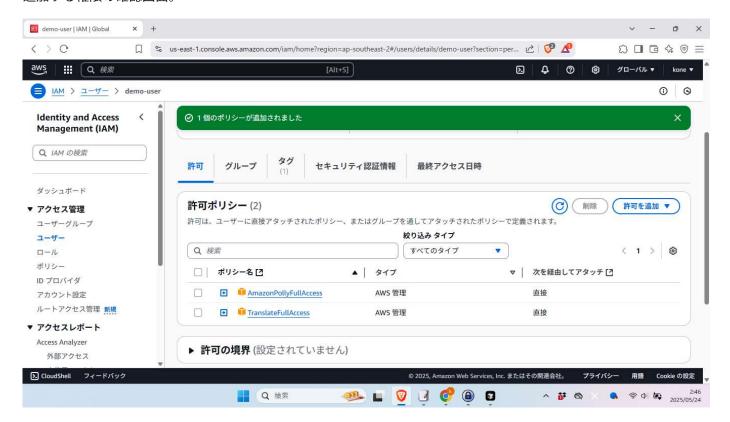
ユーザ画面右の「ポリシーを追加」ボタンをクリック。



あとは Translate の権限を追加したときと同様。 検索から AmazonPollyFullAccess を見つけてくる。



追加する権限の確認画面。



最終的に2つの権限を有する状態になった